

吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目8-28、705 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 中村小夜子
会長/小田忠文 ホームページ <http://www3.big.or.jp/%7Esskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日 編集/山本富雄
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便払込口座番号/00980-3=28845

目次

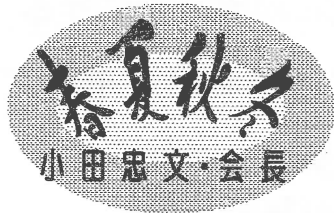
コラム 会長・小田忠文	……	2頁
最近の主な活動報告 8月16日～10月24日	……	2頁
シリーズ「いいでしょ このまち」 まちなみ委員		
太陽の塔のあるまち 松岡要三	……	3頁
すいた版 秋、春の七草(9/26、北千里) 生き物委員		
観察会のおしらせ(11/23) 高桑常子	……	4頁
大木は癒しの森 編集委員会	……	5頁
あろっく吹田散策シリーズ23		
癒しの小径みつけた 加藤加津美	……	6頁

おしらせ

- …………… 7～8頁
- 11/13 桃山台～春日集落を経て服部民家集落博物館見学
11/13～14 環境フェスティバル21
12/11 まちなみ委員会研修会

原稿募集

年6回の発行です。身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境を保全・回復・創成する趣旨であれば内容を問いません。文字数の標準は800文字以下です。原稿は事務局宛にお送りください。



すいた市民環境会議は2年前、地球温暖化防止シンポジウム

「私たちになにができるか」を開きました。そして環境家計簿をつけるなど、私たち一人一人が取り組む姿勢を持つことが大切であることを訴えました。その後大阪府が提唱し、吹田市が実施する環境家計簿推進事業「おおさかエコアクション」に協力しています。▲そして今、もう一步前進しようではないかと考えはじめています。全国各地では数年前から「市民共同発電所」の動きがあり、すで

に50カ所以上が稼働しています。太陽光や風力などクリーンなエネルギーでの発電を多くの人がかかわっておこなおうというものです。吹田でも、市民のシステムとしてやっていけないものでしょうか。その方向を探るべく、再度シンポジウムを開きます。▲再生可能な自然のエネルギーをつかって、地域のエネルギーは地域でつくり、これ以上未来につけを残さない努力をするために行動を起こしませんか。▲11月29日(月)午後7時メイシアターです。チラシを参考に是非参加してください。

最近の主な活動報告 (8月16日～10月24日)

- 8月21日 } 千里緑地でヒメボタルの生息と竹の植生の調査 (主催・ヒメボタルの会)
- 9月 5日 }
- 8月24日 ジャスコ南千里店で紙すき講座 参加者延べ26人
- 8月27日 西山田集会所でNPOと学校連携研究事業講座「西山田緑地の変遷」
- 9月11日 あルック吹田散策 正雀・安威川コース 参加者27名
- 9月26日 七草観察会 北千里 参加者19名
- 10月 9日 奈良県今井町散策 (研修) 台風のため12月11日に延期
- 10月 6日 }
- 10月13日 } 堺市立南八下小学校でエコクッキング 5年生
- 10月10日 七草観察会 春日 参加者11名
- 10月23~24日 江坂公園で吹田市緑化フェアにブース出展

太陽の塔のあるまち

まちなみ委員 松岡要三

1970年に行なわれた大阪万国博覧会は、戦後の日本の発展、世界の民族交流の上で特筆すべきイベントでした。「人類の進歩と調和」のスローガンのもとに世界各国から史上最大の6400万人が集まりました。

その跡地は、緑の美しい森と芝生が広がり、人々が集う憩いの場となっています。万博のテーマ館として岡本太郎の設計した太陽の塔は、輝かしい70年万博のシンボルとして、大地に力強く根を降ろし君臨しつづけています。

吹田市は万博の開催された街、太陽の塔のある街として、全国的に知名度を高めています。

今、太陽の塔や大阪万博が注目されています。昨年の33年ぶりの太陽の塔内部公開では、1970名の募集に対して24,000通の応募があり、また本年のアンコールでは19,000人が見学しました。

京都大学の大学院生、森見登美彦さんの小説「太陽の塔」が日本ファンタジーノベル大賞を受賞し、作品の中で「太陽の塔は宇宙遺産」と書いて注目されました。

インターネットの世界でも万博・太陽の塔には目を見張るサイトがあります。個人のホームページ「追想 日本万国博覧会」は注目に値します。

<http://expo70-web.hp.infoseek.co.jp/>

この8月～10月にも、万博や太陽の塔が人を集めたイベントが多くありました。万博や太陽の塔は人を引き付ける「場の力」があります。

それらのイベントを紹介します。皆さんと一緒に、万博と太陽の塔の魅力・メッセージについて考えてみたいと思います。



吹田のシンボルを描こう美術展表彰式

吹田のシンボルを描こう美術展

園児や小学生が太陽の塔を描いた美術展がモノレール万博記念公園駅構内で開催されました。表彰式に出席された岡本太郎記念現代芸術振興財団理事長の岡本敏子さんは「子どもたちが描いている太陽の塔は、サッカーをしていたり、ピヤ樽みたいな形をしていたり、一人一人が太陽の塔になった自画像だった。なぜこのようなイマジネーションが沸くか不思議なんです。子どもたちの中に生きているのです」と。

商工会議所青年部近畿ブロック大会

すいたのまちからこんにちは「今こそ、新たな“人類の進歩と調和”が未来を切り開く！」をコンセプトに吹田市で開催されました。

太陽の塔世界遺産への道を考えるフォーラム

万博当時テーマ館サブプロデューサーを務められた作家の小松左京さん、岡本敏子さん、幼い時から太陽の塔のファン、大阪市大助教授の橋爪紳也さん、熊野古道の世界遺産化にかかわられた千里金蘭大学助教授の寺口瑞生さんなど EXPO'70 当時の関係者や諸先生、万博記念機構、ユネスコ協会などの関係者を招きフォーラムが開かれました。

「愛・地球博」愛知万博へエールを送る点灯式

34年ぶりに太陽の塔の両目が光る「太陽の塔・点灯式」などのイベントが開催されました。

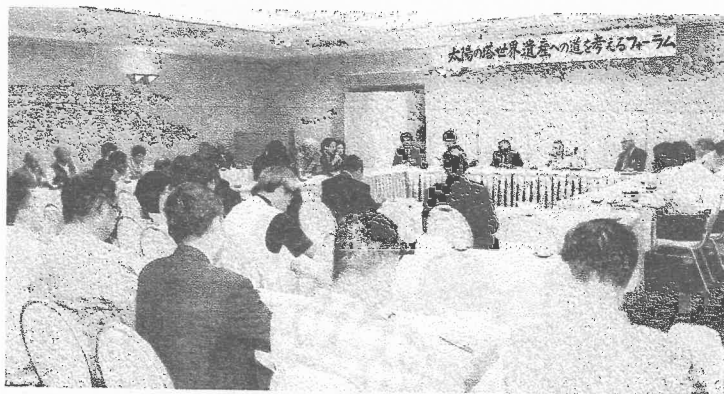
大阪万博公式記録映画上映会

懐かしの大阪万博「マニア EXPO' 70」

民族学博物館講堂と鉄鋼館で開催されました。

来年4月末には世界各国の若者が吹田に集まり、「万博から人類の進歩と調和を世界にアピールし考える」ことが計画されています。

また、来年は万博35周年の年で、愛知万博も開催されます。来年もこの「場の力」が多くの人を引き付けるでしょう。



太陽の塔世界遺産への道を考えるフォーラム

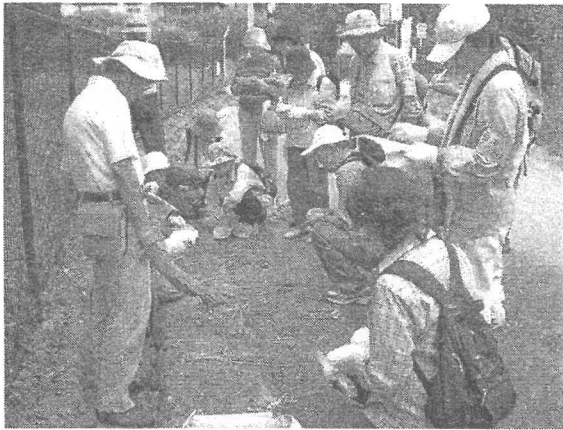
すいた版 春の七草・秋の七草

秋の七草観察会(北千里)に参加して

高野台 高桑常子

三色彩道の華やかな紅葉を想像しながら、路傍の野草採取から観察会は始まりました。中でも目に付いたのは艶やかな「アレチヌスビトハギ」濃いピンクが青い葉と風に揺れた姿に、“いつも見慣れた薄ピンクの花と同種かしら・・・” 摂津の友人と話し合いました。

苗圃入口歩道脇で、採取した野草を種別に分類しその特徴・見分け方等を受講。



苗圃内は、市民農園中止の為休耕田状態。でも青紫蘇の繁りが名残を残し、地面ではスズメバチが青虫を捕獲し冬への備え真っ最中。お目当ての「ツリガネニンジン」・「ワレモコウ」の他に「キカラスウリ」の青い実が枯れた桜の梢に数珠なりに・・・夏の宵、人知れずに咲いた白いレースの花、冬の黄色い実。見たい。

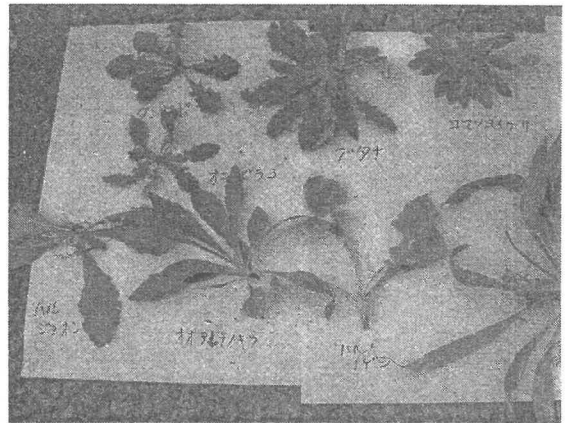
最後に観察した植物を確認しましたが、その間は藪蚊の食事タイム。彼等も命を繋ぐ！自然と人の関わりの難しさを感じました。刈られる事によって命を繋ぐ野草があり、又種子が弾ける前に刈られて命果てる野草も！刈ることのメリット・デメリット、時期などをもっと考えなければと思いました。

休耕地＝荒地ではなく、賢い人手の加え方を考えなければと、思いました。

虫との出会いも。尺取虫・蟋蟀・芋虫・雀蜂そして藪蚊！生き物の気配は楽しい。たとえ、痒くっても我慢しましょう。

昭和40年代前半、北公園の草っ原を歩くと、虫が飛び出し子供達は歓声と共に右往左往。この夏休み、空っぽの虫籠と捕虫網を持って父親と歩く小学生に出会いました。彼の虫籠にバッタをキリギリスをそしてクワガタを。

野草観察と昆虫観察が一緒に出来る自然を取り戻したい。その為には何をすればいい？一人でも多くの方が観察会に参加する事！。



生きもの委員会報告

1. 次の七草観察会・勉強会予定

第10回 千里山高塚周辺の田んぼ

9/26 北千里に続き、10/10 春日で観察会を実施しましたが、次回は11/23 千里山高塚です。

参加ご希望の方、時間までに集合場所へおいで下さい。

- ・日時 11/23(日) 午前9時～12時
- ・集合 阪急千里山駅前(観察場所は歩いて15分ほどの田んぼ。阪急バス上山手バス停より10分程の所)
- ・目的①「オオイヌノフグリ」・「ヒメオドリコソウ」など「春の七草」の花と幼苗の観察
②「ワレモコウ」・「ツリガネニンジン」など「秋の七草」の名残の観察

2. 七草調査状況

七草調査はいよいよ第4コーナー「秋の七草」調査に入っています。続いて「春の七草」追加調査として、幼苗状態などで確認を行う予定です。(平 軍二)



大木は癒しの森

～大切に見守りたい～



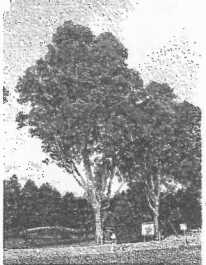
“一本の森 思はする木の下に 子供ら集う 誰の居ぬ日も”

渡辺純子氏の歌です。「大きな樹木は、独特の力を保って人々の心を静め癒してくれる不思議な引力を持っているものだ。」と、詠まれているのだと思います。

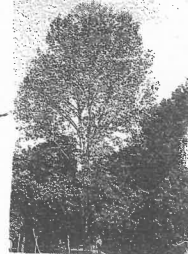
吹田市には、幹周り 200cm 以上の古木・大木が 38 種類 420 本もあることを、たくさんの人達の協力で確認することができました。(1997年～1998年に調査) その調査の結果が下記のマップです。

あれから7年余の歳月が流れました。この木々たちは現在、どうなっているのでしょうか。「開発の波に飲み込まれてはいまいか。」「皆の癒しの場所として親しまれているのか。」汗を流した分だけ心に掛かるこの頃です。今一度、人々の暮らしを見つめてきた木々の大切さ **ポプラ** を見直してみたいと思います。

ユーカリ

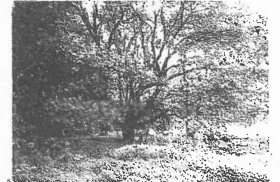


津雲台 千里南公園
幹周り 210cm 高さ 25m
公園ができたころに植えられた木です
背は高いが古木ではありません



藤白台 千里北公園
幹周り 204cm 高さ 30m
高さ30メートルのノボの木です

アカメヤナギ



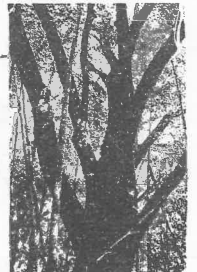
高野台 高町池
幹周り 322cm 高さ 25m 株立ち2本
湿地に大きく枝をひろげています

クスノキ



千里山東 関西大学
幹周り 1223cm 高さ 17m 株立ち 9本
吹田で最大の木でした
関西大学のなかにはこのほかに大木
がたくさんあります

カスミザクラ



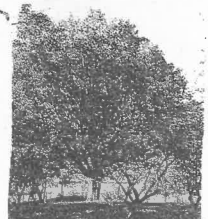
山田東 円照寺
幹周り 282cm 高さ 16m
4月末に花を咲かせてタケノコを掘る時期を知らせていたそうです
今は竹林の中です

クロマツ



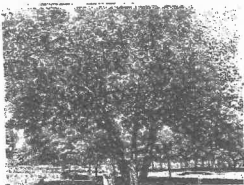
円山町 民家
幹周り 218cm 高さ 21m
民家にあって目じるしの役目をいまも果たしています

アベマキ



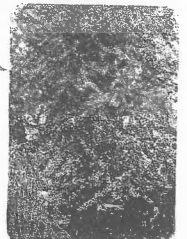
五月が丘東 紫金山公園
幹周り 210cm 高さ 17m
丸い大きなドングリをいっぱい落とします

プラタナス



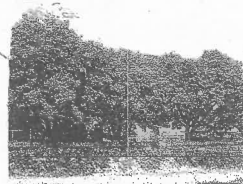
芳野町 アメニティ江坂
幹周り 330cm 高さ 15m 株立ち 2本
芝生の中でひときり目立つこの木は鈴のような実をたくさんつけます

イチヨウ

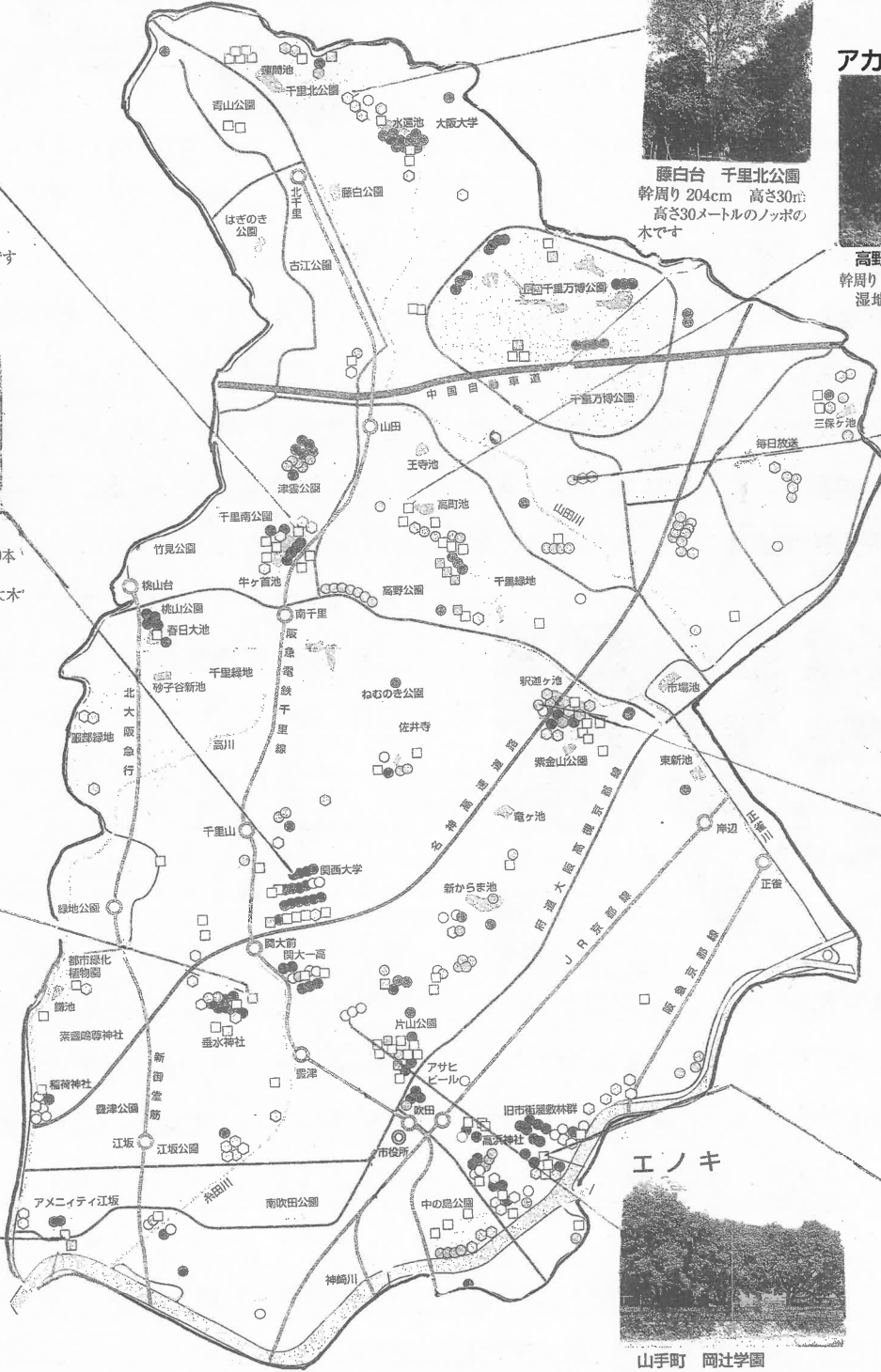


内本町 弘誓寺
幹周り 301cm 高さ 20m
弘誓寺の境内にそびえています

エノキ



山手町 岡辻学園
幹周り 321cm 高さ 14m
秋になると赤い実をつけ幼稚園児も喜んでたべます



*** 癒しの小径 見つけた！ ***

正雀・安威川コース 9月11日(土)

出口町 佐藤 加津美

当日は、さわやかな晴天に恵まれたせいか、集合場所のJR岸辺駅周辺には30名近くの人達が集まりました。

今回の散策は岸辺から安威川沿いに行く新しいコースでした。JR吹田・千里丘に比べると遅れている岸辺駅周辺の整備ですが、コンクリート会社の移転も終わり、これから本格的に進んでいこうとのことでした。

駅から歩き出して少しすると静かな住宅街に入り、まもなく「^{あまつじんじや}天津神社」に着きました。

「大阪学院大学」では樹木の繁ったキャンパスの入り口をちょっとお借りして「大阪学院大学」の概要と吹田市にある他の大学【大阪大学・関西大学・千里金蘭大学・大阪経済大学】の話などを聞きました。



「大阪学院大学」のキャンパス前で

その後、安威川沿いの「南正雀スポーツグラウンド」横の公園で小休止。木陰でお菓子をいただきながら、和やかに出席者の確認がおこなわれました。

安威川沿いの緑道を歩くのは初めてでしたが車は規制され開放感もあり、川に遊ぶ水鳥を

* * * * *

見たり草花を観察したりしながらゆったりと歩ける所でした。



安威川沿いの緑道

川沿いには高層の団地が建ち並び、その一角辺りに「アドプト・リバー」という花壇が作られています。「アドプト」とは養子縁組のことで、ある区間を里子に見立て、自治会や会社などの地域の団体を里親として、植栽・清掃美化などの維持管理を任せることからこの名前が付けられたそうです。吹田市が地域団体の活動を支援するという形です。このような制度のあることも知らず言葉も初めて耳にしましたが、その後に通った「済生会吹田病院」の近くにも「アドプト・リバー」があり、樹木が立ち並び、きれいに清掃された小径でした。

かつて大阪と北摂を結ぶ交通の要所として賑わった「吹田の渡し跡」まで川沿いを歩き、「吹田文化歴史まちづくりセンター（浜屋敷）」^{だんじり}で地車を見学し、解散となりました。

吹田に住んで40年。学校に通っていた時も結婚してからも吹田から離れず暮らしています。毎回いろんなコースを歩いて街並みを探索し、「歴史・自然」「現在・未来」「観たり・聞いたり」などなど……。とても楽しいです。

12月11日 まちなみ委員会研修旅行

今井町奈良県を見学

江戸時代にタイムスリップ

10月9日に予定したまちなみ委員会研修旅行が台風のため、12月11日（土）に延期しました。あらためてご案内します。まちなみ委員でない一般会員も参加できます。昼食を予約するので、参加は申込とします。

奈良県橿原市今井町は「大和の富は今井に七分」といわれるほどかつては栄えたところ、現在は、戸数600余りのうち、500戸が伝統的な建築で、江戸時代にタイムスリップしたような町並みです。

日時：12月11日（土） 雨天決行

集合：JR大阪駅環状線ホーム売店付近 午前9時15分

乗物：JR大阪駅9時30分発→（環状線）→鶴橋→（近鉄大阪線）

→大和八木駅→八木西口駅 交通費片道約830円（各自購入）

昼食：食事処 三宝庵・・・予約します。

案内：橿原市ボランティアガイドに案内を依頼

参加費：300円（保険、ガイド謝礼、資料代）

入館料、交通費、食事代等は実費（4000円程度）を別途負担。

申込：会員限定で先着25名

11月30日までに松岡まで（電話・Fax 06-6384-8168）

あろくく吹田の番外編コース

桃山台から春日集落を経て、服部の民家集落博物館見学へ

正午頃服部緑地で午前の部終了。オプションで、昼食後博物館に入場（解説付き）

日時：11月13日（土） 小雨決行

集合：北大阪急行・桃山台駅 午前9時30分

参加費：会員400円、非会員500円（博物館入館料500円は各自負担）

持ち物：午後も参加の方は弁当持参。雨具、水筒。

申込：先着30名。

11月10日（水）までに松岡へ（電話・Fax 06-6384-8168）

万博自然公園・お祭り広場

環境フェスティバル21

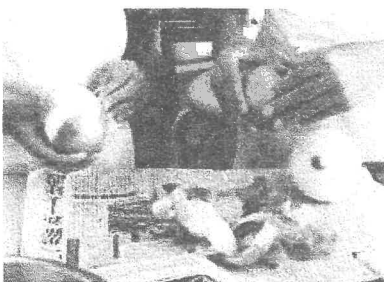
11月13日(土) 14日(日) 10:00~16:00

すいた市民環境会議は「体験・エコクッキング」をします。あなたも体験しませんか？

当日会場で参加募集をします。参加費：食材費 100円程度

- ・減農薬や有機野菜をとおして食の安全を考えて
- ・地球温暖化防止のため省エネルギーのクッキング法を体験
- ・水質汚濁防止を考えた食器の洗浄も体験
- ・3Rとは

そのほか、環境のさまざまな視点から食べることをみてみましょう。



←より安全な食材選び

私たちは多くの命をいただきます→



会員数と入金のお願

2004年10月15日現在の会員数

正会員148名(個人145名、団体0名、法人3名) 購読会員(89名) 賛助会員(0名)

★ 封筒の宛先ラベルの下段に入金済みの年度を記入していますのでご確認ください。

★ 会費未納の方に郵便局の振込用紙を同封しました。入金をお願いします。

会員の種類、会費金額、郵便振込先は表紙の題字下に掲載しています。

郵便振込みの場合は、入金確認が若干遅れる場合があります。

正会員は総会で議決権があり、購読会員は総会で議決権がありません。他は同じです。

★ 会費についてのお問合わせ、会員の種類変更などは

大越好子 TEL 06-6382-7769 FAX 06-6382-8697、あるいは中村小夜子 TEL 090-8375-0647まで

ご寄付をいただいた方々 2004年8月3日~10月15日(敬称略) なし

理事△

毎月第3土曜日に市民会館で1時30分から行なっています。どなたもお気軽に傍聴できます。その場合、日時の変更の場合がありますのでお問い合わせ下さい。

吹田をソーラータウンに!

地球温暖化防止 タウンミーティング

「おかしい気候だね」「なんか変だね」そんなつづやきて
季節が過ぎていく。

温暖化の影響が私たちの実感として迫っている。

「家庭の環境マネジメント」や「おおさかエコアクション」を通じ、

私たちは省エネルギーや効率化によって

エネルギーの消費量を減らすことを試み、

自らできることを実行してきたつもり・・・だが・・・

何かを変えることができたのか、アクションは起こせたのか・・・

「私たちは何ができるか」を再び問いたい。

太陽光や風力などの「自然エネルギー」を

吹田のまちに出現させるアクションをおこしたい。

11月

29日

(月)

◆市民発電所実施団体からの報告

龍池妃都美さん(NPO 法人きょうとグリーンファンド副理事長)

◆参加者フリートーキング

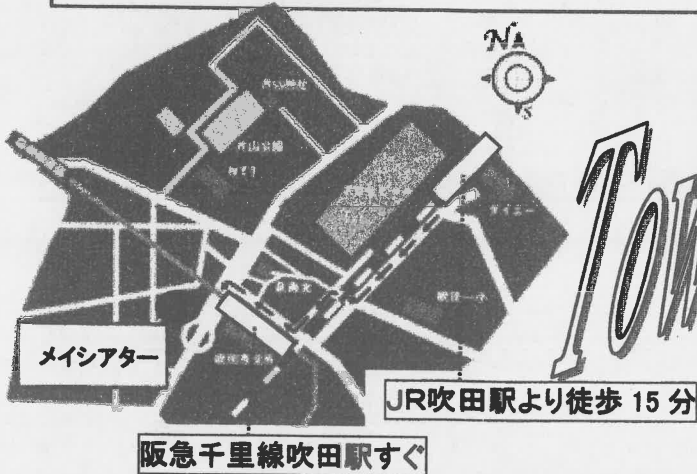
吹田をソーラータウンにするために、どうしたらいいか、
みんなで話そう

コーディネーター:久 隆浩さん(近畿大学理工学部助教授)

日時:11月29日(月)19:00~21:30

場所:メイシアター 小ホール

参加費:無料



Town Meeting

主催 大阪府地球温暖化防止活動推進センター

共催 NPO 法人大阪府民環境会議

NPO 法人すいた市民環境会議

後援

吹田市

大阪府